

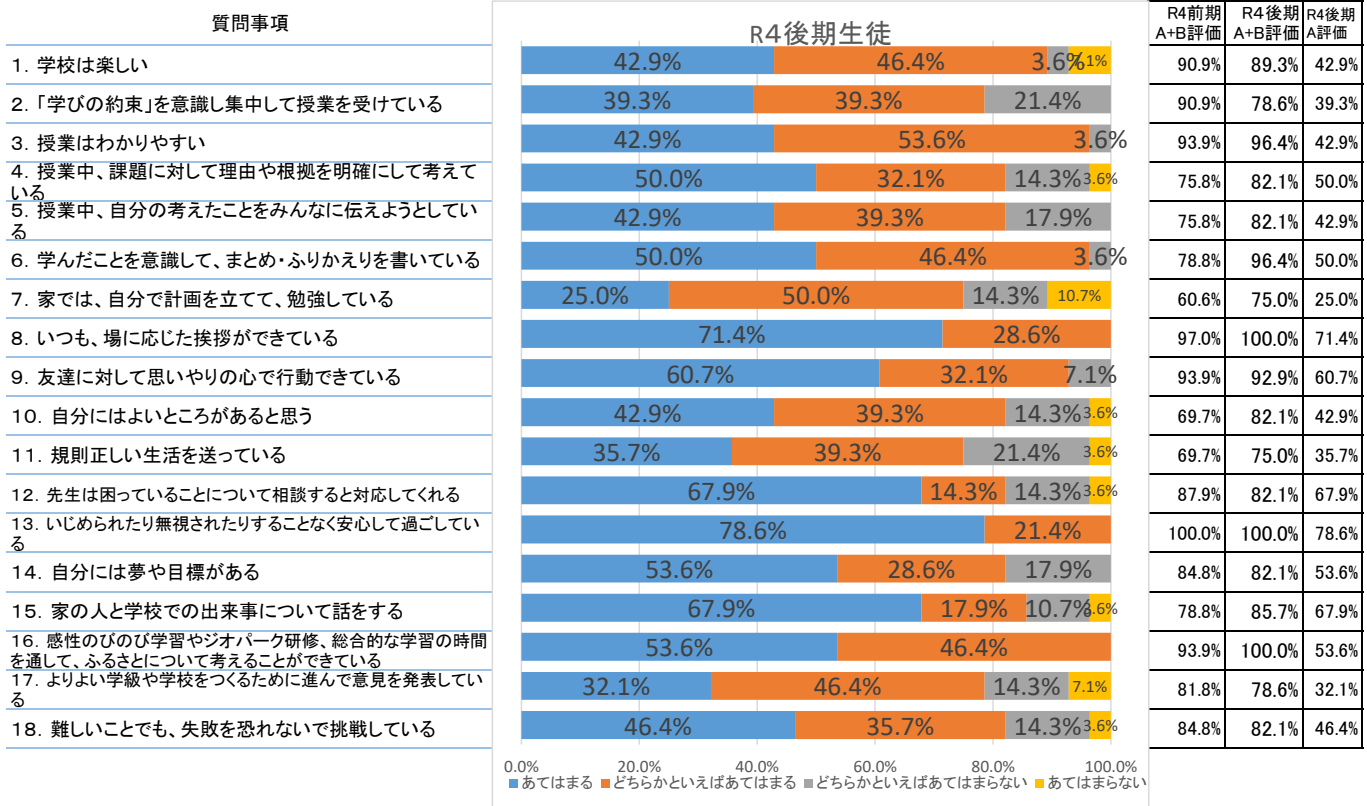
中学校保護者様

白山市立白嶺小中学校
校長 清水由美子

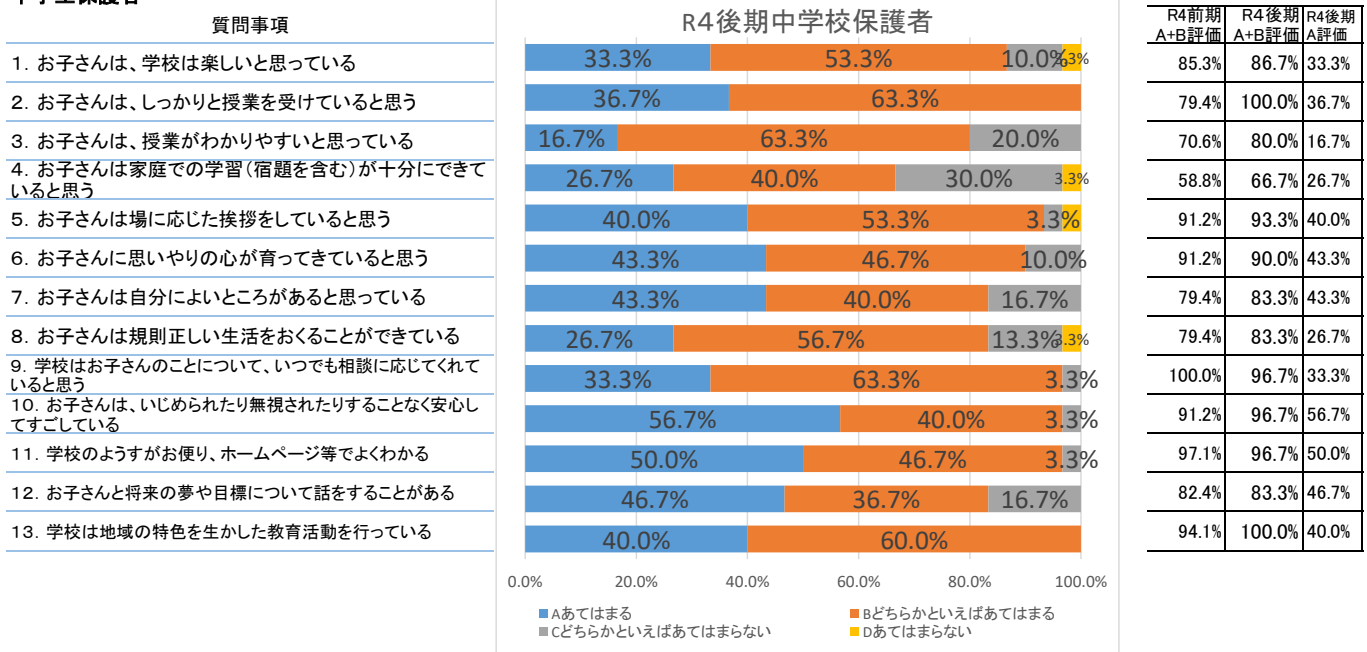
令和4年度後期 学校アンケート集計結果<中学校>

厳寒の候、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃より本校の教育活動に多大なるご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。
後期学校アンケートの集計結果をお知らせいたします。今後この結果を踏まえ、教職員一同、一層の改善に努めていきたいと考えております。

中学校生徒

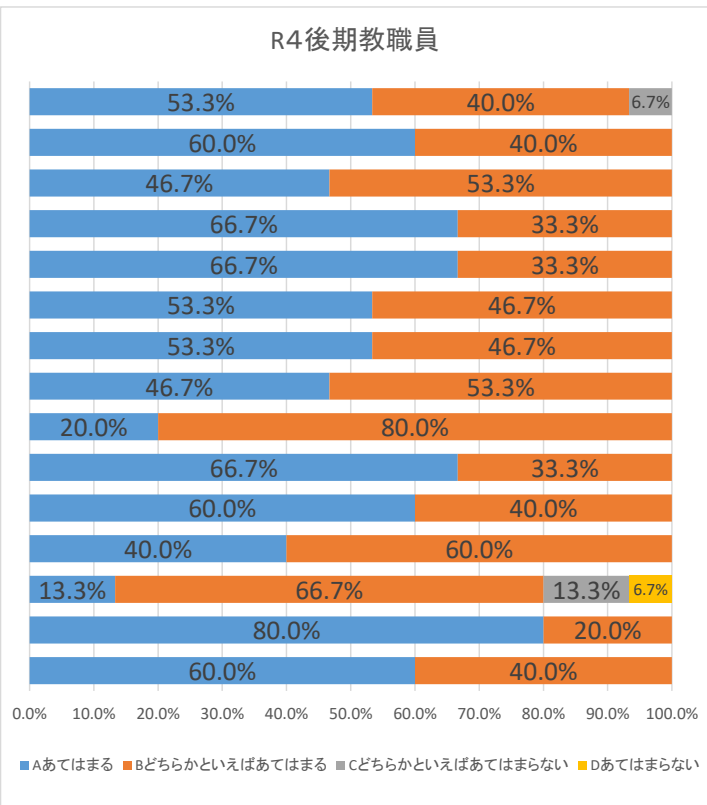


中学生保護者



教職員

質問事項
1. 子ども達は、学校で楽しく過ごしている
2. 「学びの約束」等に基づき、授業規律について指導している
3. ねらい(育みたい資質・能力)を明確にした授業をしている
4. 自分の考えを、根拠や理由を明確にして表現する指導している
5. 思考をつなげ深めるための問い返しを行っている
6. 学習のまとめ・振り返りを、視点をもとに書かせている
7. 家庭学習の方法を具体的に例を挙げながら教えている
8. 子ども達が、場に応じた挨拶ができるように指導している
9. 子ども達は、道徳教育の推進等で思いやりの心が育っている
10. 子ども達が、自己有用感を高めるような指導・関わりをしている
11. 子ども達が、規則正しい生活習慣を身につけるよう指導している
12. 子ども達は、いじめられたり無視されたりすることなく過ごしている
13. 働き方改革を進めた結果、労働時間や内容が適正になっている
14. 感性のびのび学習やジオパーク研修、総合的学習の通して、「表現する力」を育む指導ができています
15. 学校行事や様々な活動を行う中で、よりよい学級や学級づくりを意識した話し合いやふりかえりの指導ができています



R4前期 A+B評価	R4後期 A+B評価	R4後期 A評価
100.0%	93.3%	53.3%
100.0%	100.0%	60.0%
100.0%	100.0%	46.7%
100.0%	100.0%	66.7%
93.8%	100.0%	66.7%
87.5%	100.0%	53.3%
93.8%	100.0%	53.3%
100.0%	100.0%	46.7%
100.0%	100.0%	20.0%
93.8%	100.0%	66.7%
100.0%	100.0%	60.0%
93.8%	100.0%	40.0%
75.0%	80.0%	13.3%
100.0%	100.0%	80.0%
100.0%	100.0%	60.0%

【よかった点○と課題▲と改善策☆】

〈学習面〉

・家庭での学習について

○生徒への個別の声掛けを継続した結果、「家で計画を立てて勉強している」のA+B評価の生徒がわずかですが、増加しています。

▲生徒、保護者共、まだ家庭学習が不十分だと感じている人が多いようです。

☆テスト計画や日々の課題を通して、生徒への個別の声掛けは継続して行い、良い計画表やノートの実践例の提示も行っています。また、学習コンテストなど、目標を持たせて取り組める活動を来年も続けていきたいと思ひます。

・授業のわかりやすさについて

○生徒の「学んだことを意識して、まとめ・ふりかえりを書いている」のA評価が増加しています。

▲保護者の「授業がわかりやすい」についてのA評価の数値が低いです。

☆今後も、授業中の生徒の発言に、教師が問い返していくことで学習内容を理解させ、成長したことを自覚させられる授業作りを行い、個別の支援も継続していきます。また、生徒がお互いの意見を聞き合う場面を設けるなど、授業展開を工夫していきます。

〈生活面〉

・規則正しい生活について

○保護者のA+B評価は増加してきています。

▲保護者のA評価は下がっており、また、依然として生徒と保護者の双方の認識に開きがあります。

☆「規則正しい生活」とはどんなものか等、具体的に生徒・保護者と学校が共通理解できるような取り組みを実施したいと思ひます。

また、育友会と連携した取り組みを検討していきたいと思ひます。

☆スマホやタブレットの利用についてのアンケートを実施し、実態把握を行いたいと思ひます。

・安心安全な学校について

○生徒の「自分にはよいところがあると思う」という項目について、A+B評価が12.4%増加しました。また、保護者の数値も向上し、どちらもA+B評価が80%台となりました。特別活動での行事運営や総合的な学習の時間での探究活動、それともなう発表などの取り組みにより、自己肯定感が高まり、自信をつけてきたことが要因であると思ひます。

▲「いじめられたり無視されることなく、安心して過ごせる」のA評価が78.6%に増加しました。今後は100%を目指していきたいと思ひます。

☆授業の中で生徒の良さを見つけて、ほめる、友達の良いところを認め合うなど自己肯定感が高まる取り組みを継続していきたいと思ひます。